

残暑お見舞い 申し上げます



暦の上では立秋となりますが、まだまだ続くこの酷暑、こまめな水分補給を行い、熱中症にならぬようご注意ください。

▶もし熱中症かなと思ったら…

まずは涼しい場所へ移動しましょう。そして衣服をゆるめて、氷枕や保冷材などで首筋の両側や、わき、足の付け根などを冷やして体温を下げます。皮ふに水をかけ、うちわで扇ぐことでも身体を冷やすことができます。そして塩分と水分を補給しましょう。市販されているOS-1ドリンクや、スポーツドリンクなどは水分と共に塩分も同時に補給できるのでおすすめです。ただ、意識がなかったり、おう吐の症状がある場合は無理に飲ませず、すぐに救急車を呼びましょう。

▶救急時に役立つ「命のカプセル」

熱中症に限らず、災害時や救急搬送時にその人の既往歴や、かかりつけ医、服薬情報、緊急連絡先などがわかるよう「命のカプセル」(救急医療情報)を用意しておくことも大切です。そういった情報がまとめであれば、もしものときに、救急隊と医療機関が連携して救急活動を行うことができ、家族への連絡もスムーズに行えます。



京丹波町「命のカプセル」(救急医療情報キット) ↑
※必要な方は地域の民生委員さんにご相談ください。



▶必要情報はこまめに更新を！

命のカプセル内の情報を常に最新のものにしておくことも大切です。病院受診時、処方された薬のリストなど、受診の度に入れ替えるなど、こまめに更新することをおすすめします。

▶クローバーも独自に情報を整理

クローバー訪問介護(障害者居宅介護も含む)も利用者の同意を得たうえで、その人の救急医療情報をまとめ、利用者宅の記録簿ファイルにはさんでいます。またその情報を事務所にも保管し、半年に一回その情報を更新しています。もしヘルパー訪問時に利用者に異変が生じ、救急車を呼ぶ必要があったとき、スムーズにやりとりができるよう、独自に情報を整理し活用しています。救急時に大事なことは、焦らず落ち着いて行動すること、また必要な情報を簡潔に救急隊に伝えることです。

別途用紙を添付しますのでご活用ください。

救急医療情報			
氏名	性別	生年月日	住所
〒	番	番	番
住所(住所記載)	保険者番号	緊急連絡先	緊急連絡先
治療中の病名や疾患(病名) 発熱している医療機関、アムネーの名称等について記入してください。			
病名	医療機関名・科内線名	療科の状況	
(病名欄)		① 経過観察中	
(病名欄)		② 入院中	
(病名欄)		③ 手術中	
(病名欄)		④ 療養中	
(病名欄)		⑤ 在宅療養中	
(病名欄)		⑥ 療養中	
(病名欄)		⑦ 療養中	
(病名欄)		⑧ 療養中	
(病名欄)		⑨ 療養中	
アレルギー	その他		
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
ケアマネジャー	電話番号	所属名称	所属施設

【クローバーで作成した救急医療情報の用紙 ↑】

NPO 法人クローバー・サービス

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 53
 ■TEL (0771)88-5014 / ■FAX (0771)88-5017
 ■e-mail: info@cloverservice.or.jp
 ■ホームページ http://www.cloverservice.or.jp

クローバー・デイサービスセンター

京都府船井郡京丹波町橋爪楡山 41-1
 ■TEL & FAX (0771)88-0138
 ■e-mail: day@cloverservice.or.jp



facebook QR



有田誠(ありたまこと) 京丹波町在住の映画愛好家。
 写真は、下関市赤間神社の奥に生きのびている大連神社。扁額の揮毫は近衛文麿。 筆者撮影

山下惣一さん一周忌

佐賀県唐津在住の農民作家(本人はこの呼称を好まず、百姓で通っていた)山下惣一さんが亡くなって一年が経った。
 あくまでも農家として、みかんや米を育てながら著書五十七冊。タイ、韓国、ブラジル、ロシアなどの外国の現場ルポを書いたり、国内外で共同のグループ

を作ったりした。文章は平明で深い論理性をもち、分析鋭く、ユーモアにあふれ読みやすい。
 一度、福岡で自然農の川口由一さんよしかずとの催しの打ち上げで山下さんの隣に座ったことがあった。途切れることなく酒をのまされた。こういう酒のみ方も、田舎の百姓そのものであった。



最後の著書『振り返れば未来』(左写真 不知火書房二〇二二)は、その山下さんの百姓人生を聞き書きした四五〇頁の大著である。
 六〇年代の国主導の果てのミカン大暴落から、おりりの農政の出鱈目さまで、現場は国家からどう被害をこうむったか、具体的に述べられている。深刻な話を笑いたつぷりに語る。

『男はつらいよ』と同時進行のニッポンの物語として、一家に一冊置きたいすばらしい本です。
 さて、前回のつづき。

三船敏郎(一九二〇〜一九九七)



⑳『知床慕情』(一九八七)で淡路恵子に惚れる獣医。中国山東省青島の生まれ。四歳のとき大連に移る。大連駅近くで写真屋を営む父が病気のため、家業を手伝う。十五年前に私が大連に行ったときには、その写真店が入っていた建物はまだあった。
 六年間、軍隊にとられ、熊本で敗戦を迎えたとき、「ざまあみやがれ」と思っ

たと言う。両親も故郷もなく、軍隊仲間が東宝の撮影部にいたので、カメラマンの履歴書を出す。何かの間違いで、第一期ニューフェイスの面接に呼び出される。態度のでかさにひんしゆく響感を買ったが、補欠で採用されてしまう。

出演作に傑作は多々あるが、個人的には『用心棒』(一九六二)と『椿三十郎』(一九六二)の浪人役が大好きだ。何回見ても面白い映画というものがあるものだ。
木暮美千代(一九一八〜一九九〇)



⑳『翔んでる寅次郎』(一九七九)で田園調布に住む桃井かおりの「上流家庭」の母親役。

寅次郎は、川向うは千葉県、京成沿線の育ちだから、田園調布と聞いて「田園地帯か。父ちゃん、百姓か」と言う。東急沿線のことには知らないのである。

小暮は下関の生まれ。父は関釜連絡船(株)の取締役だった。松竹ですでに三年のキャリアがあったが、一九四一年、二十歳上のいところ和田日出吉と結婚する。

和田は、時事新報の帝銀事件の連載で有名になり、結婚当時はすでに満州新聞社理事であった。小暮は松竹の仕事をつづけながら一九四四年十二月に新京に渡る。和田は満映の

常務理事となり、敗戦の翌

年九月に二人で帰国した。

一九五七年の納税額が二四六九万円。映画出演のほかジュジュ化粧品、三洋電

機の二十年以上のCF出演、孤児のためのボランティア活動、中国人留学生を自宅に寄宿させるなど、戦後の活躍は多岐にわたる。

激務の連続で、本人が病気のデパートと言っていたぐらいで、一九九〇年、心不全で死亡。

内田朝雄(一九二〇〜一九九六)



⑳『花も嵐も寅次郎』(一九八二)の大分県湯平温泉

の旅館主人。

東京の動物園でチンパンジーの飼育係をやっている沢田研二が、亡き母の遺骨を持ってやって来る。

母は以前その旅館で仲井をやっていたのだ。情のある内田は手厚く供養をしてやる。東映やくざ映画の極悪組長が、実にやさしい役をやる。

内田朝雄は朝鮮平壤の生まれ。平壤第一中学卒業後、満州炭鉱傘下の東満和竜炭鉱に入社した。

和竜は、詩人尹東柱の生地、龍井の隣である。同志

社に留学していた尹は、独立運動の容疑で下鴨警察署に逮捕され、福岡刑務所で敗戦の年、獄死した。

内田は一九四一年に応召され、久留米や北満、広島などに駐屯、敗戦は

仁川で迎え、翌月復員した。一年後、北海道で開墾

事業に従事。二年後、満蒙開拓義勇団の元団員たちと長野県に入植する。地元

との意見対立で同地を引退き払い、大阪の宇部興産に入社、演劇活動に専念する。一九五八年、「虚業世界で実力をためそう」と芸能界入りした。

内田は宮沢賢治の研究家としても知られ、農文協出版から『私の宮沢賢治』(人間選書96一九八二)、『続私の宮沢賢治』(同127一九

八八)が出ている。

なお、尹東柱の詩集は、『空と風と星と詩』(岩波文庫 金時鐘編訳)が入手しやすい。

森繁久彌(一九一三〜二〇〇九)



⑥『純情編』(一九七二)で

五島列島に住む宮本信子の父親役にワンシーンのみというぜいたくな出演。

満州で電信電話(株)の新京放送局に勤務。敗戦翌年まで満州に七年暮らす。この連載十回分ほどは逸話があるが、省略。



鈴木雅人、松村和彦(著)
かもがわ出版(発行)

介護関連本の紹介

2025年には認知症を患う人の数が700万人を超えるとの推計値が発表されています。65歳以上の5人に1人が認知症患者という計算になります。今年6月14日には「認知症基本法」が成立。認知症の人の尊厳が守られ、他の人々と共生できる社会に向けた第一歩を踏み出しました。

本書は2020年3月から約3年間、京都新聞で連載された内容を単行本化したもので、本人や家族の本音を伝えながら前向きに歩む姿などを紹介し、温かい社会をつくる道筋を示しています。

利用者の声

デイサービス利用者が京都新聞に投稿され、「こまど」欄に掲載されました。

こまど 年を取ってもある幸せ 山内 佳織

朝夕はまだひんやりしている時もありますが、日中はとても暑くなってきました。私は今、町のクローバー・デイサービスセンターに、送迎ありでお世話になっている、この開設歳の太台に乗ったばかりの老女です。

デイに行く日は心優しいスタッフの皆さんにいろいろお話を聞き、面白いクイズとか塗り絵とかボウリングのような点取りゲームとか、言葉つなぎの遊びとか連想ゲームのようなことなど、いろいろ考えてくださるので、とても楽しい時間を過ごさせてもらっています。

晴天の日はドライブで花の美しい季節も楽しませてくださるし、お風呂はひのき風呂に1人ずつスタッフさんのお世話になり、お湯は1人1回で流し替えてもらうので清潔です。その後お昼になると、栄養満点のおいしいお食事を完食して、本当に幸せを感じ、お世話になっている方々に感謝の気持ちで胸いっぱいになります。

今の私は残り少ない人生に悔いを残さない生き方を考える日々です。私のモットーは「一人には優しく、自分に厳しく」ですが、なかなか実行できていない毎日を反省しています。利用者の皆さんは心の通う大切なお友達です。

(京都府京丹波町・92歳・無職)

京都新聞 二〇二三年七月二日(日)付

朝刊掲載

編集後記

7月中頃、利用者宅の庭や、京丹波町病院の垣根に「クチナシの花」が咲いているのを見かけました。沈丁花、金木犀とともに三大香木のひとつとされ、純白の花の美しさに加え、甘い香りに癒されます ▼「クチナシの花」と聞けば渡哲也の歌を思い浮かべる人も多いと思いますが、私は昔住んでいたアメリカでのダンスパーティーを思い出します ▼私は二十代前半の3年間をアメリカ東海岸で過ごしました。ある時、働いていた会社のダンスパーティーに誘われたのですが、慣れないタキシードを着せられ、現地の友達にいわれるがまま会場に赴きました ▼もちろんダンスなんてものは踊ったこともなく、その作法も知りませんでした。ただ「こうすればいいんだよ」と友達が見せた姿がやけにスマートでカッコよく今でも覚えています ▼会場の隅にクチナシの花が一輪ずつトレイに並べてあったのですが、それを手に取り胸ポケットに入れ一緒に踊りたい女性の前で、クチナシの花を差し出し「Shall We Dance? (私と踊ってもらえませんか?)」と誘うのです。昔ながらの風習らしいですが洒落ていますよね。あれから二十数年経ちますが、クチナシの花を見るたび当時のことを思い出します。 <編集子>

<賛助会員>

- (有) あさひ堂
- (株) 一谷住宅
- イン・ザ・ルーム 亀岡店
- 上段税理士事務所
- (株) 高木設備
- たにやま鍼灸接骨院
- 田端輪業
- (有) 土佐寿司
- (有) 永田損害保険事務所
- (有) 西村テレビ
- 三木歯科医院
- みづほ電工
- 理容ちどり

(五十音順)